

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 グラフィックデザイン専攻											
デザイン実習 3A											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	川口 貴弘			実務 経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
<p>アートディレクター&グラフィックデザイナー。美術大学、芸術大学院を卒業。MFA (Master of Fine Arts) 修士号を取得。実務経験20年以上。デザイン思考とアート思考を用いて、DesignとArtの領域を横断しながら、様々な問題の解決に取り組んでいる。</p>											
授業概要											
<p>本講義では、具体的に解決策を考察する「産学連携型」授業である。また、ディスカッションを通して、自ら考え、議論し、客観的な視点を持ち、且つ積極的にプロジェクトへの参加と貢献が求められる。コーチング能力やマネジメント能力を身につける。内外全体への発表も行えるようプレゼンテーション能力を習得する。</p>											
到達目標											
<p>自ら問題点を抽出することが出来るようになる。また、クリエイターにおいて重要な事前調査(リサーチ)能力の向上を図り、且つ、コミュニケーション能力向上も、同時に図る。個人制作ではなく、グループ内での立場を理解し、チームに貢献することを考慮できるようになる。また、自身の作品に向き合い、どのように手直ししてブラッシュアップするかを担当教員と相談を重ね、見やすくわかりやすい作品集を完成させることが目標である。 就職活動に必要となってくるため、時間を決めたプレゼンテーションができるようにしていく。</p>											
授業方法											
<p>これまで培った技術と知識を活かし、産学官と連携しながらプロジェクトを進めていく。 実践を経験することにより、個人制作ではなく、最終決定者が第三者であることも意識していく授業内容である。 取材時には、必ず取材依頼書を作成し、事前に申し出ること。</p>											
成績評価方法											
プレゼン	30%	グループ内での貢献も考慮する。									
課題完成度	30%	提出課題完成度を総合的に評価する。									
リサーチ	30%	調査結果のボリュームも考慮する。									
平常点	10%	積極的な授業参加する姿勢も考慮する。									
履修上の注意											
<p>講義に遅刻、欠席しないこと。 実技課題を遅れても必ず提出すること。 講義資料等の忘れ物をしないこと。 授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。</p>											
教科書教材											
授業内にて資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	授業オリエンテーション 授業ガイダンス/本講義の主旨を理解する										
第2回	産学・学官 連携課題1 企業や自治体の関係者によるオリエンテーション										
第3回	産学・学官 連携課題2 講義/産学・学官 連携課題 提示										
第4回	産学・学官 連携課題3 演習・実習/リサーチ&企画検討1/グループディスカッション										
第5回	産学・学官 連携課題4 演習・実習/リサーチ&企画検討2/グループディスカッション										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 グラフィックデザイン専攻	
デザイン実習 3A	
第6回	産学・学官 連携課題 5 演習・実習/企画内容・サムネイルチェック 1
第7回	産学・学官 連携課題 6 演習・実習/企画内容・サムネイルチェック 2
第8回	産学・学官 連携課題 7 中間プレゼンテーション発表
第9回	産学・学官 連携課題 8 講義及び、試作のブラッシュアップ1/グループでの企画検討(ディスカッション)
第10回	産学・学官 連携課題 9 講義及び、試作のブラッシュアップ2/グループでの企画検討(ディスカッション)
第11回	産学・学官 連携課題 10 講義及び、試作のブラッシュアップ3/グループでの企画検討(ディスカッション)
第12回	産学・学官 連携課題 11 演習・実習/最終発表に向けた試作 1
第13回	産学・学官 連携課題 12 演習・実習/最終発表に向けた試作 2
第14回	産学・学官 連携課題 13 講評/講義 1
第15回	産学・学官 連携課題 14 講評/講義 2